



BGMの世界 その6

もう一度聴いてみよう、「幻の St.GIGA」

AAFC 例会資料

2015/10/25

担当：堀端俊雄

今回は 10 年前に発表したデータを掘り起こして部分修正を加え、今や幻となってしまった St.GIGA と云う衛星デジタルラジオ局の思い出話と 20 年以上前の録音を聴いて頂きます。

sm14727910 - [BS 5ch]アナログ放送...
www.youtube.com - 480×360 - 画像で検索
sm14727910 - [BS 5ch]アナログ放送停波2005/03/31[St.GIGA]

ページを表示 画像を表示

関連画像:

12 : 60 (時間 : 分) を捨てた放送局【St.GIGA】

この放送局は BS-5「WOWOW」の独立音声チャンネルを使った世界初の有料音楽放送局で、1991 年から 2002 年まで凡そ 11 年間続き、最盛期には 45,000 人以上のファンがいたそうです。

St.GIGA 1991/5/19 密やかな森 (20:0...
www.youtube.com - 480×360 - 画像で検索
St.GIGA 1991/5/19 密やかな森 (20:00~26:00) 2-4

ページを表示 画像を表示

関連画像:

以下の囲いは加入契約者に配布された開局時のプログラミング・コンセプトからの抜粋転載です。

「TIME & TIDE」

<タイド・テーブルの三要素：太陽の運行、月の運行、海の運動>

かつて私たちは自然の時間とともに生きていました。日の出と日の入り、月の満ち欠け、潮の満ち干、季節の移り変わり…。人もまた、水の惑星、地球を構成する自然の一部です。

そして、私たちのからだの中にも、他の生命と同じように、こうした自然の運行に呼応して移り変わる自然の時間が流れています。そうした時間は、私たちを取り巻く、水、大気、大地、生命、天体といった大いなる自然と優しく調和して流れているはずで

す。日の出、新月、満月、満潮時、春から夏にかけての感情の高揚。日没、上弦、下弦の月、干潮時、秋から冬にかけての感情の沈静。こうした私たちの体の中を流れる自然に耳を澄まし、自然の時間の中に自らを解き放つとき、はじめて私たちは真に安らぎ充足することができるのではないのでしょうか。

St. GIGA が送る「音の潮流」は、こうした自然の時間の流れのなかに、自然に湧き上る人間の感情を浮かび上げ、地球の美しい生命の輝きをちりばめていくことによって割り出されます。



時間とは、まず、天体の運動が作り出す物です。そして生命はそのうえにそれぞれのリズムをつけ、メロディーを奏でていくのです。ですから StGIGA を導くのは、グリニッジ時間ではありません。

自然の時間、太陽と月と地球の運動が、StGIGA に時を告げるのです。

St. GIGA は、さまざまな文明の時間から解き放たれ、大いなる海の時間に導かれて「音の潮流」を送ります。St.GIGA の「音の潮流」に身を任せるとき、私たちはナチュラルな感情の流れの底に、私

たちを包み込んでいる大いなる自然を聴くことでしょう。

ところが我々人類は 12：60（時間：分）という時間のフォーマットに馴らされてしまい、自然のリズムから外れて行ってしまっているのではないのでしょうか？。

時間と云う観念は物質界の基準として創造されたものであり、精神界には無いとも言われているそうです・・・・・・・・

では St.GIGA がどんな放送局であったか、実際に当時の録音を聴いて思い出してみること

に致しましょう。どうか BGM の一つとして気楽に聞流してください。

(1992 年 4-5 月の放送から、テープ→HDD→CD)

(詳細はグーグルで St.GIGA にて検索されると多数の項目がご覧になれます。)

以 上